

学部 氏名	訪問教育学級 荒 拓也
教材・教具名	ポリ袋で気球を飛ばそう（ポリ袋の気球）
指導の形態	自立活動
ねらい	気球内の温かい空気、ポリ袋の気球が徐々に膨む様子、物体が空中に浮く不思議など、様々なことを感じながらワクワクした気持ちで活動して欲しいと思い制作しました。
	【作り方】 ○気球 ・薄いポリ袋（45L・厚さ0.011～0.014mmを使用）を切り開いて一枚にする。 ・気球のペーパークラフトの型紙を拡大し、ポリ袋を切り出す。 ・ホットシーラーを使用して切り出したポリ袋を接着し、気球の形にする。 ○発射台 ・段ボールの箱の中央に穴を開けてドライヤーを設置する。 ・吹き出し口にボール紙を筒状にして接着。 ※ポリ袋がドライヤーの吹き出し口に近づきすぎるとすぐにポリ袋が溶けてしまうので、吹き出し口に近づかないように工夫した。



ドライヤーを設置



発射台

気球



①発射台に気球を設置



②ドライヤーで気球に温かい空気を入れる



③気球を手で押さえて中の空気を十分に温める



④手を放す



⑤ゆっくりと上昇



⑥体育館の天井まで上がります



⑦中の空気が冷めるとゆっくり降りてきます

※室温が低い方がよく上がります。